

令和8年度 学校運営の構想

校訓 【 誠実（受けとめて） 自律（自らたちつつ） 協同（ともに生き） 】

学校教育目標

自ら考え行動できる生徒の育成

基本方針

生徒一人一人の良さを認め、励まし、伸ばす

目指す学校像・生徒像・教師像

◎学 校 像：生徒と教師の笑顔があふれ、明日も行きたくなる学校

◎生 徒 像：何をすべきかを考え、正しく判断し、行動できる生徒

◎教 師 像：生徒を信頼して任せ、生徒の成長を見守り楽しむ教師

本年度の重点

～ ALL FOR ONE ～

【授業づくり部会】

◎学習規律の確立と維持

(1) すべての生徒に分かる授業づくり

- ①特別支援教育の視点による授業改善
- ②ICT機器やAIドリルの有効活用
- ③生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導

(2) 生徒の思いや考えをつなぎ、思考を深める
授業づくり

- ①学びがいのある学習課題の設定
- ②自己選択・自己決定できる場面づくり
- ③必要感のある話し合い活動
- ④学びの過程の振り返り

【活動づくり部会】

(1) 自己有用感の醸成

- ①生徒が創るプロジェクト活動
・運動会実行委員会による運動会の準備・運営
・校歌歌い隊の活動促進
- ②主体的で自治的な活動を保障する学校
・生徒会活動（ボランティア活動等）や学校行事等における活躍の場を意図的に設定

(2) 主体性を育むキャリア教育の推進

- ①総合的な学習の時間における指導の工夫
- ②ソーシャル・スキル・トレーニングによるコミュニケーション能力の育成

明日も行きたくなる学校

【心づくり部会】

(1) 道徳教育の充実

- ①すべての教育活動を通した道徳性の育成
- ②生徒が自らの成長を実感できる評価の工夫
- ③ローテーション道徳等、協働体制による授業づくりと教材研究の深化

(2) 人権・同和教育の充実

- ①互いに認め合い支え合う仲間づくり
- ②「輝き」教材の計画的な授業実践
- ③人権集会・人権講演会等による生徒・保護者啓発と教職員研修の充実

【生徒指導・不登校対策の充実】

(1) 組織的な生徒指導体制の推進

- ①いじめの未然防止と早期対応の徹底
- ②生徒指導委員会、職員会等による情報共有
- ③不登校対策委員会による支援体制の明確化（「個人カルテ」・ステップルームの活用）

(2) 自己指導能力の育成

- ①自己存在感を実感できる声掛けや絆づくり
- ②安心して学校生活が送れる居場所づくり

(3) 関係機関との連携の強化

- ①SC、SSW、支援センターとの連携
- ②学校・警察相互連絡制度の活用

【保護者、地域から信頼される学校づくり】

- (1) チーム中部中学校、教職員の働き方改革の推進、部活動の地域展開への準備、適切な情報発信
- (2) PTA・学校運営協議会・地域団体等との連携